

下妻第一高校 出前授業 報告

2016. 09. 28(水)

武仲 能子

茨城県立下妻第一高等学校

日時 : 9月28日(水) 14:30~15:30

出席者 : 塚田委員、武仲委員長

参加者 : 1年生の希望生徒(男子25名、女子8名、計33名)

内容 :

14:00 下妻第一高等学校 到着

14:30-14:35 開会のあいさつ…小川先生

14:35-14:45 LAJ委員会の紹介/機械工学とは?…武仲委員長

14:45-15:30 講義

武仲 : やわらかい機械 ~50年後の未来のための基礎技術開発~

塚田 : 進化し続ける自動車

15:30 終了

○状況詳細 :

- ・対象生徒は理系を選択した1年生で、翌週(10/6)に予定している産業技術総合研究所の見学に来る生徒であったことから、見学する内容に関する前知識と、現在行っている研究、および研究者の日常について、研究所職員と企業研究者の立場から話をした。
- ・LAJの紹介では、機械工学分野の紹介、女性エンジニアの社会的位置付けなどについて説明した。
- ・普通の教室で行われたため、室温も問題なく、集中して聞いてもらうことが出来た。また生徒との距離が近かったため、問いかけをしながら進めることが出来た。
- ・アンケートは翌週の産総研見学時に持参してもらうこととした。

○講義風景



○アンケート結果

- ・理系進路希望者（理学、工学、薬学、医療）で、参加者の40%程度を占める。
- ・希望進路、性別に関係なく、おおむね講義の理解、関心は高かった。
- ・9割の男子生徒から参考になったとの意見をもらったが、女子生徒では5割が参考にならなかったと回答した。
- ・参加してよかったか、との問いでは、ほとんどの生徒からよかったとの回答を得たが、次回も参加したいと思うか、との問いでは、男子生徒が9割参加したいというのに比べて、女子生徒では次回も参加したい割合が6割程度にとどまった。
- ・女子生徒では薬学、医療への進学希望者はいるものの、理工系への進学希望が0だったことも、参考になった、次回参加したい、といった意見が半数程度にとどまった原因だと考えられる。一方で、講義そのものは理解でき、関心も高まったとの回答も得ており、今後そういった関心をどうやって高めていくのか、あるいは、なぜそもそも理工系への進学希望が低いのかも考えていく必要がある。